



KOKORO先生の ドイツレポート Vol.1

【岡崎こころ先生】
2016年より中部中勤務。
2021年より日本人学校の
先生として単身ドイツへ。
教科: 理科・国語・保体
特技: 剣道・走ること。

本年度4月より、ドイツの「ハンブルグ日本人学校」に勤務することになった。岡崎こころ先生。担任は、中学1～3年生の理科を担当している。奮闘も当然のこころ先生は、現地へ赴任してからは、不透明な状況に悩まされています。そんな、KOKORO先生から、日本一校の様子をはじめ、「ドイツ」レポートしてもらうのがこのコーナーです。回数も未定ですが、これからぜひ楽しみに！

1年生の皆さんは初めまして。2、3年生の生徒・保護者の皆さんお久しぶりです。いかがお過ごしでしょうか？校長先生から、このような機会をいただきましたので、これからドイツのことなどを紹介していきます。

ところで、このレポートのタイトルは、『Danke (ダンケ)』です。日本語では、「ありがとう」を意味します。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

『日本人学校』って？ 『日本人学校』は、親の仕事の関係で海外に駐在している子どもたちに、日本と同じ環境で学べるようにしている学校です。

世界には今、95校の日本人学校があるそうです。その中で、今回私が文部科学省から派遣された学校は、ドイツの「ハンブルグ日本人学校」です。(州の名前はハンブルク、学校名はハンブルグ)

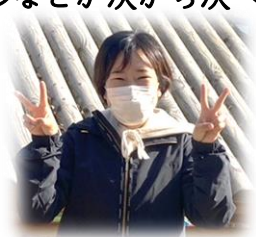
どこに行ってもいいと考えていたのですが、ドイツはとても素敵などころだったので良かったです。右の写真は、私が勤務する日本人学校で、今年で40周年を迎えました。ドイツにも桜があります。三重県より寒いので、4月中旬頃満開になりました。



ハンブルクについて ハンブルクは、地図でいうとドイツの北側にあります。首都ベルリンに次ぐ、ドイツ第二の都市です。学校から約20km離れたところに、左の写真の市庁舎があります。この庁舎の目の前に、日本の領事館があります。領事館へ手続き関係で行った時に、この壮大で美しい建物を見て感動しました。市庁舎が建てられたきっかけは、「ハンブルク大火」と言われる、1842年に起きた大規模な都市火災です。ハンブルクの街の4分の1が被害を受けたそうです。今後このような大火災が生じても火が燃え広がらないために、それまでの市庁舎を取り壊し、新市庁舎を別の場所に建設することになったそうです。当時、ハンブルクは、貿易・商業で成功を収め、街に駅やオフィスビルなどが次から次へと建設されていた時代で、新市庁舎はそうした街の発展・繁栄を象徴するような建築なのだそうです。



ハンブルクは、この市庁舎を中心に観光が盛んです。私が訪れた日は曇りで、(ドイツは曇りばかり！晴れはとても貴重です)どんよりとした空でしたが、晴れた日の様子はさらにきれいなので、是非調べてみてください。





部活訪問③ 卓球部・軟式野球部

学校だよりの新コーナーとして、「部活訪問」を企画しました。日頃から、各種大会やコンクール、文化祭等への出品などに向け、一生懸命に取り組んでいる様子を紹介します。中には、部長・副部長や顧問の先生へのインタビューも！！
★コーナー3回目となる今回は、「卓球部」と「軟式野球部」です。

【卓球部】顧問：河村博人先生・谷口智美先生 部長：松上心音 副部長：川戸琉汰郎

卓球台をピン球が跳ねる音が心地よく耳に響く中、卓球部の練習にお邪魔しました。卓球部は、3年生19人、2年生29人、1年生16人で、総勢64人の大所帯です。にもかかわらず、体育館内の部活動と場所を分け合っているため、最大でも8台の卓球台しか稼働できない状況です。この日も、1年生を中心に、体育館のステージ上で素振りや筋力トレーニングなどをやっていました。そのような状況ですが、部員たちは真剣な表情の中にも、時折笑顔がこぼれるなど、和気あいあいと練習に打ち込んでいました。



部長の松上さんは、「1年生は真面目にやってくれている。男女の仲も良く、互いに声掛け合っているのが良いところ」と話す。卓球の魅力は？に、「スマッシュが決まると、とても気分がいいところですかね」と答えてくれました。顧問の河村先生は、「先輩、後輩の上下関係がなく楽しくやっています。卓球は奥の深いスポーツ。技術の習得には時間もかかるが、広い視野で大会や日々の練習に向き合って」とエールを送る。谷口先生は、練習ぶりを眺めながら「楽しくできているのが何より。卓球を通じた仲間づくりができれば」と言われていました。



部員に声掛けする河村先生

【軟式野球部】顧問：佐藤雅俊先生・伊藤宗紘先生 部長：葛西隼 副部長：西山瑛都・山川羽希

練習場所となっている第1グラウンドの階段を降りかけた瞬間から、「こんにちは～！」の声が矢継ぎ早に飛んでくる……。そんな印象がある軟式野球部ですが、この日も変わることはありませんでした。小気味よく打ち出されるシートノックの打球に、素早く反応する部員たち。1年生も、同じように頑張っただけ対応している様子は、実にフレッシュではありましたが、すっかりチームの一員となっているところには少し驚きました。レフトを守る部長の葛西さんは、「徐々にチームワークが高まってきます」と期待を込めて話してくれました。続けて、「学校生活やプライベートでも仲良くしていくことで、もっと強くなるんです」と目を輝かせていました。



シートノックをする佐藤先生

顧問の佐藤先生は、「3年生が4人だからということもあるが、全員が仲良し。県大会出場を目標に頑張っています」と、力強く話す。また、「地域に応援されるチームになってほしい」とも。もう一人の顧問である伊藤先生からは、「努力は裏切らないので、やり続けよう」とのメッセージ。



確実に強くなる！そんな期待感に満ち溢れているチーム……。それが軟式野球部です。

梅雨入り後の つ・ぶ・や・き …

- ◆5月16日に、「東海地方が梅雨入りしたと見られる」との発表があった。早いなという印象はあったが、調べてみると、昨年は6月10日頃だったので、今年は統計史上最も早い梅雨入りだとか。始まりが早かったら、終わりも早いのかという疑問はあるが、大雨による災害がないことを祈るばかり。
- ◆明日20日から「第1回定期試験」となる。1年生は初めてということで、どんな勉強ぶりかが気になるところ。範囲は短い方なので、その分しっかりと復習しておいてほしい。
- ◆人権サークル「スマイルクローバー」が動き始めた。今年の活動にも、大いに期待を寄せたいと思う。